

有害プランクトン調査結果(速報)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所

平成28年5月19日付けで発行した、ヘテロシグマ属についての有害プランクトン注意報は今回の調査をもって解除します。

- 平成28年6月1日に東京湾内の有害プランクトン調査を実施したところ、ヘテロシグマ属のプランクトンは、内湾北部(浦安, st.15, 検見川沖, 羽田沖, アクア北, st. 2, 千葉灯標)の7地点で1~15細胞/mlの密度で確認されたものの、その密度は低く、注意を必要とする基準(1,000細胞/ml)を大きく下回りました。
- なお、本種は依然内湾北部で出現しており、梅雨の時期には赤潮を形成することがありますので、注意してください。
- 次回の調査は、6月20, 21日の予定です。

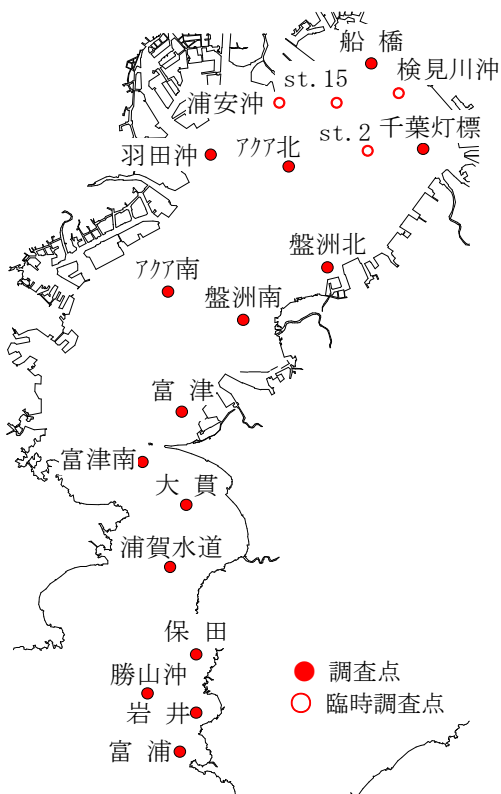


図1 調査地点

表1 各調査地点のヘテロシグマ属プランクトン細胞密度

内湾		内房海域	
調査地点	細胞密度 (細胞数/ml)	調査地点	細胞密度 (細胞数/ml)
船橋	0	富津南	0
浦安沖	15	大貫	0
st. 15	10	浦賀水道	0
検見川沖	3	保田	0
羽田沖	1	勝山沖	0
アクアライン北	1	岩井	0
st. 2	9	富浦	0
千葉灯標	2		
盤洲北	0		
盤洲南	0		
アクアライン南	0		
富津	0		

水産総合研究センターでは、東京湾でプランクトンの出現状況調査を実施し、毎月1回有害プランクトン情報を発行していますが、有害プランクトンが確認された場合には必要に応じて調査結果を速報として発行します。

(連絡先 : 東京湾漁業研究所 0439-65-3071)